

伊賀市地域共生社会実現に向けたアンケート調査

令和 6 年 12 月

伊賀市

目次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の方法	1
3.	配布・回収数	1
4.	報告書の見方(注意事項)	1
5.	設問の構成と意図	2
II	調査結果	4
1.	回答者について	4
2.	福祉サービスについて	7
3.	安心・安全な環境	13
4.	地域のつながり	18
5.	地域活動	24
6.	今後の地域福祉施策	30
III	アンケート調査からみられる課題の検討	32
1.	福祉サービスの課題	32
2.	安心安全な環境における課題	39
3.	地域のつながりにおける課題	43
4.	地域活動についての課題	47
5.	今後の地域福祉政策	53
6.	第4次地域福祉計画の課題整理について	55

I 調査の概要

1. 調査の目的

本市では、第4次地域福祉計画において、「ひとりひとりが支え合い つながりあいながら、いきいきと暮らせるまちづくり」を理念に掲げ、支える・支えられるという関係を超えて、お互いが支え合うことができる地域共生社会の実現をめざし、さまざまな取り組みを行っています。

この調査は、第5次計画の策定にあたり、市民の皆様へ地域福祉についてご意見やご提案をお伺いし、伊賀市の今後の地域福祉の取り組みを検討することを目的として実施したものです。

2. 調査の方法

- ② 調査対象地域 伊賀市全域
- ② 調査対象者 市内にお住まいの18歳以上の方
- ③ 調査期間 令和6年9月1日～9月30日
- ④ 調査方法 郵送によって配布し、調査票またはウェブにて回答・回収

3. 配布・回収数

配布数	有効回収数	有効回収率
合計 3,695	1,383	37.4%
郵送 3,000	1,114	37.1%
うち調査票回答	986	32.9%
うちウェブ回答	128	4.3%
e モニター 695	269	38.7%

4. 報告書の見方(注意事項)

- ① グラフおよび表中のn数(number of case)は、「無回答」や「不明」を除く回答者数を表しています。
- ② 調査結果(グラフおよび表中)の比率は、その設問の回答者数(n 数)を分母として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示しています。したがって、端数処理のため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ③ 複数回答形式(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問については、その設問の回答者数(n 数)を分母として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ④ 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。

5. 設問の構成と意図

本調査では、第4次地域福祉計画の実施状況と課題の整理に活用することを踏まえ、計画に沿った項目立てとすることを検討しました。

現計画は、4つの支え（福祉サービス）と4つの安心（住まい、地域医療、健康づくり、くらし）を重点項目とし、施策体系については6つの充実に対応させた6つの章で構成されています。これらを内容から下記の表のように整理し、調査項目を6つにくくり直しました。

アンケート調査の項目	第4次伊賀市地域福祉計画		
	4つの支え	4つの安心	6つの充実
1 回答者の属性			
2 福祉サービスについて	1 高齢者支援 2 障がい者支援 3 子育て支援 4 生活困窮者支援		6 いきづらさを抱えた人に寄り添う社会づくり
3 安心安全な環境		A 住まい B 地域医療 C 健康づくり D くらし	4 安心と安全のまちづくり
4 地域のつながり			3 つながりあえる地域づくり
5 地域活動			1 みんなでつくる地域コミュニティ 5 これからの人材を育成するしくみづくり
6 今後の地域福祉施策	全体を包含		

6つの項目毎に調査の意図を検討し、それに基づき設問を設定しました。

1 回答者の属性

回答者の性別、年齢、家族構成等の属性情報を得ることで、2以降の設問でクロス集計を行い、属性毎の傾向を把握することを意図しています。

2 福祉サービスについて

福祉サービスの利用状況とサービスの評価をたずね、加えて健康づくりや福祉に関心のあるトピックスを選択してもらうことで、福祉サービスの現状と求められている福祉施策を明らかにすることを意図しています。

3 安心安全な環境

市民が不安に感じていることと、安心な環境をつくるために必要なことをたずねることで、課題と安心安全のために必要とされる施策とその優先順位を知ることを意図しています。

4 地域のつながり

市民の地域のつながりの現状とつながりに対する意識、つながりを広げるために妨げとなっている要因をたずねることで、つながりを強化・拡大し共助を進めるために必要な事項を検討するための情報を得ることを意図しています。

5 地域活動

市民の地域活動への参加状況と、参加を妨げている要因についてたずねることで、地域活動の現状と課題を整理し、活動を活発化させるための施策を検討する材料を得ることを意図しています。

6 今後の地域福祉施策

今後、地域福祉を充実させるために優先的に取り組むべきことについてたずねることで、市民が求める地域福祉政策の優先順位を知ることを目的としています。

4. 地域のつながり

問 18 あなたは、ご近所の人とどのようなつきあいをされていますか。(〇は一つ)【n=1,294】

近所の人とのつきあいについては、「特に親しい人はなく、外で会えば世間話をする程度のつきあいをしている」が 42.3%で最も高く、「あいさつはするが、話をするほどのつきあいはしていない」が 26.7%、「互いに相談したり、生活面で協力しあっている」が 25.7%で続いています。

互いに相談したり、生活面で協力しあっている	25.7%
特に親しい人はなく、外で会えば世間話をする程度のつきあいをしている	42.3%
あいさつはするが、話をするほどのつきあいはしていない	26.7%
ほとんどあいさつもしない	3.2%
近所に誰がいるかも知らない	2.1%

問 19 問 18 で「ほとんどあいさつもしない」または「近所に誰がいるかも知らない」と回答された人におたずねします。ほとんどつきあいをされていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)【n=65】

近所の人とほとんどつきあいをしていない理由については、「仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない」が 43.1%で最も高く、「近所つきあいは面倒だと思ふこともあるので、避けている」が 33.8%、「ふだん留守の家が多いなど、近所づきあいがほとんどない」が 29.2%で続いています。

仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない	43.1%
近所つきあいは面倒だと思ふこともあるので、避けている	33.8%
ふだん留守の家が多いなど、近所づきあいがほとんどない	29.2%
最近引越しして来た	9.2%
近所つきあいはしたいが、つい消極的になってしまう	9.2%
その他	20.0%

問 20 あなたにとって「地域」とは、どの範囲を思い浮かべますか。次の中から最もあてはまるものを選択してください。（○は一つ）【n=1,260】

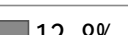
思い浮かべる「地域」の範囲については、「自治協・自治会区」が 46.2%で最も高く、「となり近所」が 27.7%、「伊賀市全体」が 10.7%が続いています。

となり近所	27.7%
自治協・自治会区	46.2%
小学校区	9.0%
中学校区	2.5%
伊賀市全体	10.7%
伊賀市及び周辺市町	3.9%

問 21 あなたやご家族が、高齢や病気、もしくは子育てなどで日常生活が不自由になったとき、地域で『手助けをしてほしい』と思うことがありますか。また、今後、ご近所とのおつきあいの中で、『手助けできる』と思うことがありますか。『手助けをしてほしい』と思うこと、『手助けできる』と思うこと、それぞれの欄に○をつけてください。（それぞれひとつだけ○）

（１）「手助けをしてほしい」

高齢や病気、もしくは子育てなどで日常生活が不自由になったとき、地域で『手助けをしてほしい』と思うことについては、「⑧災害時の手助け」が 87.2%で最も高く、次いで、「①安否確認の声かけ」（79.1%）、「⑦高齢者などの見守り」（64.2%）と続いています。

	思う	思わない	
(1)①安否確認の声かけ	 79.1%	 20.9%	【n=1,144】
(1)②話し相手	 56.8%	 43.2%	【n=1,095】
(1)③買い物の手伝い	 55.8%	 44.2%	【n=1,109】
(1)④家事の手伝い	 41.0%	 59.0%	【n=1,077】
(1)⑤通院など外出の手伝い	 56.3%	 43.7%	【n=1,112】
(1)⑥短時間の子どもの預かり	 32.1%	 67.9%	【n=983】
(1)⑦高齢者などの見守り	 64.2%	 35.8%	【n=1,078】
(1)⑧災害時の手助け	 87.2%	 12.8%	【n=1,143】

(2)「手助けできる」

今後、近所とのつきあいの中で、『手助けできる』と思うことについては、「①安否確認の声かけ」が85.3%で最も高く、次いで、「⑧災害時の手助け」(77.8%)、「②話し相手」(68.7%)と続いています。

	思う	思わない	
(2)①安否確認の声かけ	85.3%	14.7%	【n=1,121】
(2)②話し相手	68.7%	31.3%	【n=1,094】
(2)③買い物の手伝い	59.2%	40.8%	【n=1,054】
(2)④家事の手伝い	33.8%	66.2%	【n=1,034】
(2)⑤通院など外出の手伝い	42.3%	57.7%	【n=1,039】
(2)⑥短時間の子どもの預かり	39.5%	60.5%	【n=1,028】
(2)⑦高齢者などの見守り	56.0%	44.0%	【n=1,047】
(2)⑧災害時の手助け	77.8%	22.2%	【n=1,072】

問 22 あなたは、地域の助け合いが必要だと思いますか。(○は一つ)【n=1,271】

地域の助け合いが必要だと思うかどうかについては、「必要だと思う」が 78.9%で最も高く、「わからない」が 17.1%、「必要だと思わない」が 4.0%で続いています。

必要だと思う	78.9%
必要だと思わない	4.0%
わからない	17.1%

問 23 問 22 で「必要だと思わない」と回答された人におたずねします。地域の助け合いは必要ないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)【n=50】

地域の助け合いは必要ないと思う理由については、「あまり他人とのかかわりを持ちたくないから」が 48.0%で最も高く、「住民相互の協力活動にはあまり期待できないから」が 40.0%、「個人の生活は一人ひとりの責任・自覚の問題であるから」と「地域社会の問題は、市役所などが全面的に対応するものであるから」が同率(34.0%)で続いています。

あまり他人とのかかわりを持ちたくないから	48.0%
住民相互の協力活動にはあまり期待できないから	40.0%
個人の生活は一人ひとりの責任・自覚の問題であるから	34.0%
地域社会の問題は、市役所などが全面的に対応するものであるから	34.0%
友人、知人との結びつきがあれば十分であるから	26.0%
その他	10.0%
わからない	6.0%

問 24 あなたが住んでいる地域のことで「取り組むべき」と感じている問題がありますか。
(○はいくつでも)【n=1,189】

住んでいる地域のことで「取り組むべき」と感じている問題については、「一人暮らしの高齢者や障がいのある人のこと」が 42.3%で最も高く、「防災・防犯への取り組みのこと」が 34.7%、「自治協や自治会の役員のなり手がいないこと」が 33.5%で続いています。

一人暮らしの高齢者や障がいのある人のこと	42.3%
防災・防犯への取り組みのこと	34.7%
自治協や自治会の役員のなり手がいないこと	33.5%
介護が必要な高齢者がいる世帯のこと	31.8%
住民同士のまとまりや助け合いが乏しいこと	26.5%
くらしや福祉について、相談できる人がいないこと	23.0%
地域の人と交流する場がないこと	14.0%
障がいのある人がいる世帯のこと	13.4%
ひとり親（母子・父子）家庭のこと	9.9%
子どもの非行やいじめのこと	7.1%
引きこもりのこと	6.0%
その他	5.7%

問 25 あなたは、これからも現在住んでいる地域に住み続けたいと思いますか。(○は一つ)
【n=1,298】

「住み続けたい」が 45.4%で最も高く、「どちらかといえば住み続けたい」が 38.3%、「どちらかといえば住み続けたくない」が 13.8%で続いています。

住み続けたい	45.4%
どちらかといえば住み続けたい	38.3%
どちらかといえば住み続けたくない	13.8%
住み続けたくない	2.5%

5. 地域活動

問 26 あなたは、自治会等の地域活動（次問の項目に該当する活動）や地域の行事に参加されていますか。（○は一つ）【n=1,289】

自治会等の地域活動や地域の行事への参加状況については、「機会があれば参加・協力している」が 40.7%で最も高く、「進んで参加・協力している」（12.6%）を合わせると過半数の 53.3%が『参加・協力している』となっています。一方、「関心がないので参加していない」は 19.3%で 2 番目に高く、「関心はあるが、参加していない」（16.9%）を合わせると 36.2%が『参加していない』となっています。

進んで参加・協力している	12.6%
機会があれば参加・協力している	40.7%
参加することはあるが、協力することはあまりない	10.6%
関心はあるが、参加していない	16.9%
関心がないので参加していない	19.3%

問 27 問 26 で「進んで参加・協力している」「機会があれば参加・協力している」「参加することはあるが、協力することはあまりない」「関心はあるが、参加していない」を選んだ方におたずねします。それはどのような活動ですか。（〇はいくつでも）【n=926】

参加している活動、関心がある活動については、「自治協や自治会の活動」が 64.5%で最も高く、「老人クラブ活動」が 23.3%、「文化・スポーツ活動」が 17.6%が続いています。

自治協や自治会の活動	64.5%
老人クラブ活動	23.3%
文化・スポーツ活動	17.6%
環境保護活動	14.5%
公民館活動	11.0%
子ども会・育成会活動	8.9%
P T A 活動	8.7%
高齢者支援活動	8.3%
女性団体活動（女性部など）	6.7%
消防団活動	3.2%
子育て支援活動	2.9%
障がい者支援活動	2.2%
その他	3.9%

問 28 問 26 で「関心はあるが、参加していない」を選んだ方、どのような要件が整えば参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)【n=194】

どのような要件が整えば参加したいと思うかについては、「時間や内容が合えば参加したい」が 43.8%で最も高く、「集団ではなく、自分のペースでできるなら参加したい」が 23.2%、「家族や友人と一緒に参加したい」が 18.6%で続いています。

時間や内容が合えば参加したい	43.8%
集団ではなく、自分のペースでできるなら参加したい	23.2%
家族や友人と一緒に参加したい	18.6%
活動の情報やきっかけがあれば参加したい	18.0%
人に誘われたら参加したい	15.5%
自分の仕事や特技を活かせるなら参加したい	12.9%
交通費や必要経費が出るなら参加したい	5.2%
インターネットでなら参加したい	3.6%
特に要件はなく参加したい	2.1%
その他	17.0%

問 29 あなたは、まちづくり、スポーツ等のNPO活動、一人暮らしのお年寄りの見守りや子育て支援等のボランティア活動（次問の項目に該当する活動）に参加したり、協力したりしたことがありますか。（○は一つ）【n=1,247】

まちづくり、スポーツ等のNPO活動、一人暮らしのお年寄りの見守りや子育て支援等のボランティア活動への参加・協力状況については、「まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」が42.3%で最も高く、「以前に参加・協力したことがあるが、現在参加していない」が25.3%、「これまで参加・協力したことはないが、今後参加するなど関わりをもちたい」が21.2%で続いています。

現在参加したり、協力している	11.2%
これまで参加・協力したことはないが、今後参加するなど関わりをもちたい	21.2%
以前に参加・協力したことがあるが、現在参加していない	25.3%
まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない	42.3%

問 30 問 29 で「現在参加したり、協力している」と回答された人におたずねします。あなたは、どのようなボランティア活動に参加・協力していますか。（○はいくつでも）【n=138】

参加・協力しているボランティア活動については、「スポーツ・文化・レクリエーション」が37.7%で最も高く、「まちづくりに関する活動」が33.3%、「ひとり暮らしなどの高齢者の支援」が28.3%で続いています。

スポーツ・文化・レクリエーション	37.7%
まちづくりに関する活動	33.3%
ひとり暮らしなどの高齢者の支援	28.3%
自然や環境保護に関する活動	18.1%
健康づくりや栄養・食生活に関する活動	10.9%
生涯学習に関する活動	10.9%
子育ての支援や子どもの世話	9.4%
青少年の健全な育成に関する活動	9.4%
障がいのある人の支援	8.7%
国際交流に関する活動	4.3%
その他	9.4%

問 31 問 29 で「これまで参加・協力したことはないが、今後参加するなど関わりをもちたい」と答えた方におたずねします。あなたは今後どのような活動に参加したいと思いますか。
(〇はいくつでも)【n=195】

「これまで参加・協力したことはないが、今後参加するなど関わりをもちたい」と回答した方が今後参加したい活動については、「ひとり暮らしなどの高齢者の支援」が 50.8%で最も高く、「自然や環境保護に関する活動」が 25.6%、「子育ての支援や子どもの世話」が 23.6%で続いています。

ひとり暮らしなどの高齢者の支援	50.8%
自然や環境保護に関する活動	25.6%
子育ての支援や子どもの世話	23.6%
スポーツ・文化・レクリエーション	23.1%
健康づくりや栄養・食生活に関する活動	22.6%
まちづくりに関する活動	17.9%
国際交流に関する活動	11.3%
障がいのある人の支援	9.7%
生涯学習に関する活動	7.7%
青少年の健全な育成に関する活動	3.1%
その他	0.5%

問 32 問 29 で「以前に参加・協力したことがあるが、現在参加していない」または「まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」と回答した人におたずねします。どのような要件が整えば参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)【n=746】

どのような要件が整えば参加したいと思うかについては、「時間や内容が合えば参加したい」が 43.8%で最も高く、「集団ではなく、自分のペースでできるなら参加したい」が 27.6%、「その他」が 17.3%で続いています。

時間や内容が合えば参加したい	43.8%
集団ではなく、自分のペースでできるなら参加したい	27.6%
家族や友人と一緒に参加したい	15.4%
自分の仕事や特技を活かせるなら参加したい	14.2%
活動の情報やきっかけがあれば参加したい	12.6%
人に誘われたら参加したい	9.8%
交通費や必要経費が出るなら参加したい	9.0%
インターネットでなら参加したい	7.6%
特に要件はなく参加したい	2.1%
その他	17.3%

3. 地域のつながりにおける課題

①ご近所付き合い（問 18）と属性情報クロス集計

地域の安心・安全を維持・強化するためには、住民同士のつながりが重要になります。ご近所付き合いについての質問（問 18）を年齢、居住年数、経済状況、世帯構成でクロス集計し、回答の 5 段階を 1～5 点に配点し、平均点を算出しました。

全体では平均が 3.86 点ですが、年齢別に見ると、18～29 歳が 3.13 点に対して 70 歳以上は 4.13 と年齢が上がる毎に点数が上がっており、若い世代と高齢者世代とで近所づきあいの仕方に大きな差があることがうかがえます。

居住年数で見ても、10 年未満の 3.22 点に対して 30 年以上が 4.06 点と居住年数が長い方が緊密な付き合いをしています。

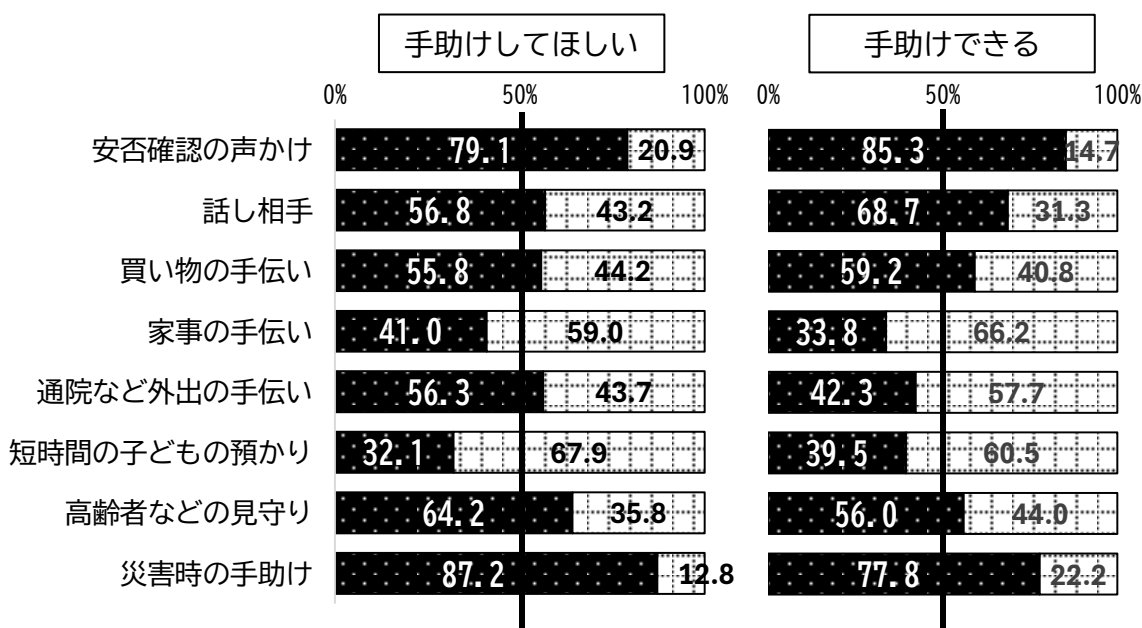
経済的状況では、大きな差は見られません。

世帯構成では、3 世代同居が 4.02 点で最も高く、2 世代同居が 3.76 点で最も低くなっています。

%		問18						
		N	あ互 つに いて い相 談し たり、 生活 面で 協力し	る間 話を する しう い程 度の なく、 外で 会え てば い世	つあ きい さは する が、 話を する ほど の	ほと んど あい さも しな い	近所 に誰 が いる かも 知ら ない	平均 点（ 協力 し合 つて いる 1～ 5点 で平 近
全体		1294	25.7	42.3	26.7	3.2	2.1	3.86
年齢4区分ク スの項目	18～29 歳	58	10.3	15.5	60.3	5.2	8.6	3.13
	30～49歳	224	12.1	36.6	41.5	5.4	4.5	3.47
	50～69歳	499	23.2	46.1	26.3	3.2	1.2	3.87
	70歳以上	507	36.1	44.2	16.8	1.8	1.2	4.13
居住年数4区分	10年未満	123	8.9	29.3	45.5	7.3	8.9	3.22
	30年未満	329	15.5	39.2	38.0	4.6	2.7	3.60
	30年以上	838	32.2	45.5	19.5	2.0	0.8	4.06
経済的状況	ゆとりがある・ややゆとりがある	190	31.6	37.9	22.6	4.2	3.7	3.90
	ふつう	674	25.5	43.9	27.2	2.2	1.2	3.90
	苦しい・やや苦しい	421	23.0	41.8	28.0	4.3	2.9	3.78
世帯構成	3世代が同居（親と子と孫）	182	33.0	37.4	28.0	1.6	-	4.02
	2世代が同居（親と子）	534	19.9	43.8	30.0	4.5	1.9	3.76
	夫婦のみ	362	28.5	45.9	22.1	1.4	2.2	3.97
	一人暮らし	165	27.9	37.6	26.1	4.2	4.2	3.81
	その他	46	37.0	32.6	21.7	4.3	4.3	3.93

②手助けできること（問 21）の内容分析

日常生活での助け合いは、手助けをしてほしいと思う意思と、手助けできるという意思が合わさって実現します。アンケート調査では8つの項目について、それぞれの意思をたずねています。



この結果を、整理すると下記の通りになります。 ■ 思う ■ 思わない

手助けできる			
手助けしてほしい		思う > 思わない	思う < 思わない
	思う > 思わない	安否確認の声かけ★ 話し相手★ 買い物の手伝い★ 高齢者などの見守り 災害時の手助け A	通院など外出の手伝い B
	思う < 思わない	C	D 家事の手伝い 短時間の子どもの預かり★

★手助けしてほしい人の比率より手助けできる人の比率が大きい（供給が需要より大きく実現性が高い）項目

Aの領域にある5つの項目は広く助け合いが実現する可能性があります。特に、★の付いた3つの項目は、手助けできる人の比率が手助けしてほしい人の比率より高いためさらに実現性が高くなります。

Bの領域は、手助けする人が手助けしてほしい人より少ないため、実現性が低くなります。「通院などの外出の手伝い」は、疾病の度合いや事故への対応などが実現を妨げる要因と考えられます。

Dの領域は、手助けする人も手助けしたい人も少数となるため、マッチングが重要になります。

このように、手助けする側とされる側の気持ちが合う項目については実現に向けた支援が必要です。

③地域で取り組むべきと感じる課題（問 24）のクロス集計

問 24 地域で取り組むべきと感じる課題を、年齢、居住年数、経済的状态、世帯構成でクロス集計をおこないました。

年代別の傾向を見ると、「一人暮らしの高齢者や障がいのある人のこと」を選択した人の比率は年齢が上であるほど高くなっていますが、「介護が必要な高齢者がいる世帯のこと」を選択した人の比率は18～29歳でも50歳以上と同程度であり、ヤングケアラーの問題を含め、高齢者の問題に若い世代も関心をもっていることがうかがえます。一方、「子どもの非行やいじめのこと」を選んだ人の比率は、50歳未満と50歳以上で大きな差がでており、子育てが身近でない50歳以上の人の関心は薄くなっていることがうかがえます。

居住年数でみると、「自治協や自治会の役員のなり手がいないこと」を選んだ人の比率は居住年数が長い人ほど比率が高くなっており、居住年数が短い人ほど自治協や自治会とは関わりが薄いことがうかがえます。

経済的状态別の傾向を見ると、「暮らしや、相談できる人がいないこと」を選択した人の比率が、生活が苦しい人ほど高くなっています。

世帯構成別の傾向を見ると、一人暮らしの人は「一人暮らしの高齢者や障がいがある人のこと」を選択した人の比率が半数を超えており、一人暮らしの生活に不安を感じている人が多いことがうかがえます。また「暮らしや福祉について、相談できる人がいないこと」を選択した人も他の世帯構成に比べ高くなっており、不安を感じる中で、身近に相談できる人がいない人も一定数いることがわかります。

%		問24												
		n	暮らしや福祉について、相談できる人がいないこと	住民同士のまとまりや助け合いが乏しいこと	自治協や自治会の役員のなり手がいないこと	介護が必要な高齢者がいる世帯のこと	障がいのある人がいる世帯のこと	ひとり親（母子・父子）家庭のこと	一人暮らしの高齢者や障がいのある人のこと	地域の人が交流する場がないこと	子どもの非行やいじめのこと	防災・防犯への取り組みのこと	引きこもりのこと	その他
全体		1182	23.2	26.5	33.2	31.7	13.3	9.7	42.4	14.0	7.1	34.8	5.9	5.8
年齢4区分 クロスの項目	18～29 歳	53	20.8	20.8	15.1	32.1	17.0	5.7	32.1	11.3	22.6	34.0	5.7	7.5
	30～49歳	207	19.8	22.7	30.9	24.2	14.0	16.4	36.2	14.5	16.9	33.8	7.7	8.7
	50～69歳	480	25.4	26.5	37.7	33.1	14.4	9.6	42.3	11.7	5.2	37.9	6.0	4.4
	70歳以上	442	22.6	29.0	31.7	33.7	11.3	7.2	46.6	16.5	2.7	31.9	5.0	5.7
居住年数 3区分	10年未満	112	21.4	22.3	17.0	29.5	13.4	15.2	36.6	14.3	17.9	36.6	7.1	6.3
	30年未満	302	23.2	25.8	25.8	30.1	17.2	10.9	36.8	10.6	9.6	33.1	5.3	7.9
	30年以上	772	23.3	27.3	38.7	32.9	11.9	8.7	45.5	15.2	4.5	35.1	6.1	4.8
経済的状況	ゆとりがある・ややゆとりがある	177	16.4	24.3	35.6	25.4	9.0	9.6	39.5	14.1	7.3	32.8	8.5	5.6
	ふつう	614	21.3	26.7	34.0	33.4	12.9	9.0	43.8	12.9	7.7	34.9	5.0	6.2
	苦しい・やや苦しい	389	28.5	27.0	31.9	32.4	16.2	11.6	41.1	15.2	6.2	35.0	6.4	5.1
世帯構成	3世代が同居（親と子と孫）	170	17.6	24.1	40.6	28.8	14.7	11.8	41.8	15.9	8.8	32.9	8.2	7.6
	2世代が同居（親と子）	503	24.3	22.7	33.2	33.6	14.9	11.7	39.6	12.9	9.5	35.2	5.8	5.6
	夫婦のみ	328	22.3	35.4	33.2	33.2	10.4	5.2	40.5	14.6	3.7	37.2	5.5	4.6
	一人暮らし	143	28.7	23.8	28.0	25.9	12.6	11.9	55.9	14.0	4.2	29.4	5.6	7.0
	その他	39	15.4	23.1	28.2	33.3	17.9	7.7	51.3	10.3	5.1	35.9	5.1	2.6

次に、地域とのつながりの強弱による地域課題の捉え方の違いを把握するために、問 24 の地域で取り組むべきと感じる課題と問 18 の近所づきあいとのクロス集計をおこないました。

地域のつながりが強い人ほど、「自治協や自治会の役員のなり手がないこと」を選択した人の比率が高くなっていることに加え、「一人暮らしの高齢者や障がいのある人のこと」も高くなっており、地域との関係性が強い人ほど、自治会の活動や一人暮らしの高齢者の問題を地域の課題として捉えている人が多くなることがうかがえます。

一方、「くらしや福祉について、相談できる人がいないこと」を選択した人の比率は、地域とのつながりが弱い人ほど高くなっており、地域との関係性が薄いことからくる不安がうかがえます。

%		問24												
		n	くらしや福祉について、相談できる人がいないこと	住民同士のまとまりや助け合いが乏しいこと	自治協や自治会の役員のなり手がないこと	介護が必要な高齢者がいる世帯のこと	障がいのある人がいる世帯のこと	ひとり親（母子・父子）家庭のこと	一人暮らしの高齢者や障がいのある人のこと	地域の人が 交流する場がないこと	子どもの非行やいじめのこと	防災・防犯への取り組みのこと	引きこもりのこと	その他
問 18	全体	1155	23.0	26.4	33.7	31.9	13.1	10.0	42.2	13.9	7.0	34.8	5.6	5.8
	互いに相談したり、生活面で協力しあっている	299	15.4	19.7	39.1	36.1	11.7	10.0	52.2	15.4	5.4	36.5	6.7	3.3
	特に親しい人はなく、外で会えば世間話をする程度のつきあいをしている	488	20.9	30.3	35.5	31.8	11.9	9.2	42.4	13.7	5.7	37.1	4.7	5.9
	あいさつはするが、話をするほどのつきあいはしていない	309	31.7	27.5	27.2	29.1	15.5	10.7	34.3	13.9	9.4	29.8	5.2	6.8
	ほとんどあいさつもしない	35	31.4	22.9	28.6	28.6	17.1	11.4	31.4	5.7	14.3	37.1	8.6	14.3
	近所に誰がいるかも知らない	24	37.5	20.8	20.8	20.8	16.7	12.5	29.2	8.3	12.5	29.2	12.5	8.3

4. 地域活動についての課題

①地域活動の参加（問 26）の属性情報クロス集計

地域活動の参加の傾向を詳細に分析するため、年齢、居住年数、経済的状況、家族構成で属性でクロス集計をおこないました。また、参加状況を定量化するため、「関心がないので参加しない」を1点、「進んで参加・協力している」を5点とする5段階で採点し、平均点を算出しました。

年齢別の傾向は、年齢が上がるほど点数は上がりますが、70歳以上は50～69歳よりも低くなっています。これは高齢のため参加を控える人がでてくるためと考えられます。

居住年数では年数が長いほど参加度は上がっています。

経済的状況では、「ゆとりがある・ややゆとりがある」と「ふつう」は変わりませんが、「苦しい・やや苦しい」を選んだ方は参加度が下がっています。

世帯構成別に見ると、3世帯同居が最も高く、夫婦のみが続ぎ、一人暮らしが最も低くなっています。

%		問26						
		n	進んで参加・協力している	機会があれば参加・協力している	参加することはあるが、協力することはあまりない	関心はあるが、参加していない	関心がないので参加していない	採点結果
全体		1282	12.6	40.6	10.5	16.9	19.4	3.10
年齢4区分ク スの項目	18～29 歳	59	1.7	25.4	10.2	23.7	39.0	2.27
	30～49歳	229	6.6	34.9	12.2	18.8	27.5	2.74
	50～69歳	501	13.6	46.7	10.6	11.4	17.8	3.27
	70歳以上	493	15.6	38.7	9.7	20.9	15.0	3.19
居住年数3区分	10年未満	125	5.6	29.6	11.2	22.4	31.2	2.56
	30年未満	331	7.3	38.1	12.7	15.7	26.3	2.85
	30年以上	829	15.7	43.4	9.5	16.5	14.8	3.28
経済的状況	ゆとりがある・ややゆとりがある	190	18.9	35.8	13.2	11.6	20.5	3.21
	ふつう	671	13.1	44.0	10.4	16.1	16.4	3.21
	苦しい	420	9.0	37.4	9.5	20.7	23.3	2.88
世帯構成	3世代が同居（親と子と孫）	183	15.3	47.5	10.9	12.6	13.7	3.38
	2世代が同居（親と子）	535	11.2	38.1	11.8	17.6	21.3	3.00
	夫婦のみ	361	12.7	47.4	9.1	15.5	15.2	3.27
	一人暮らし	157	10.8	28.7	11.5	23.6	25.5	2.76
	その他	48	20.8	31.3	4.2	14.6	29.2	3.00

地域活動への参加度は、住民の地域のつながりの強さに影響を受けていることが推測されます。そこで、ご近所付き合いとのクロス集計をおこないました。

「互いに相談したり、生活面で協力し合っている」と答えた人の採点結果は 3.81 点に対して、「ほとんどあいさつもしない」が 1.46 点で最も低く大きな差がありました。

ご近所との付き合いで「お互いに相談したり、生活面で協力している」と答えた人は、地域活動には 28.4%の人が「進んで参加・協力している」と答えており、「機会があれば参加・協力している」を加えると、約 8 割の人が参加・協力をしており、地域活動を支えていることがうかがえます。

一方、「ほとんどあいさつもしない」「近所に誰が来るかも知らない」と答えた人の 8 割以上が地域活動に参加しておらず、「あいさつはするが、話をするほどのつきあいはしていない」という人の約半数も参加していません。

このように、地域活動を活性化するためには、住民の地域とのつながりを強化することが必要です。

%	問26						
	n	進んで参加・協力し	機会があれば参加・	あまり協力しないことはある	し関係はあるが、参加	し関係がないので参加	採点結果
全体	1282	12.6	40.6	10.5	16.9	19.4	3.10
互いに相談したり、生活面で協力しあっている	324	28.4	48.1	5.9	10.8	6.8	3.81
特に親しい人はなく、外で会えば世間話をする程度のつきあいをしている	532	9.6	48.1	12.0	17.3	13.0	3.24
あいさつはするが、話をするほどのつきあいはしていない	335	4.5	31.0	12.5	21.8	30.1	2.58
ほとんどあいさつもしない	41	2.4	2.4	12.2	4.9	78.0	1.46
近所に誰がいるかも知らない	23	-	4.3	4.3	30.4	60.9	1.52

②参加している（したい）地域活動（問 27）の属性クロス

参加している地域活動について、年齢、居住年数、経済的状況、世帯構成でクロス集計をおこないました。

年齢別の傾向を見ると、いずれの世代も「自治協や自治会の活動」を選択した人の比率が最も高くなっていますが、それに続く活動は世代により多様です。18～29 歳は「文化・スポーツ活動」が続いており、30～49 歳は「子ども会・育成会活動」が続いています。50～69 歳は「文化・スポーツ活動」が続いていますが、19.0%であり「自治協や自治会の活動」の 76.3%と大きな差があります。70 歳以上は「老人クラブ活動」が続いています。

居住年数別の傾向を見ると、年数が長い人は年齢も高い人が多いと考えられることから「自治協や自治会活動」や「老人クラブ活動」への参加率は高くなっており、加えて「文化・スポーツ活動」も居住年数が長いほど参加率が高くなっています。

経済的状況では、「自治協や自治会の活動」への参加は「ふつう」の人が最も高く、「ゆとりがある・ややゆとりがある」と答えた人が続いています。文化・スポーツ活動は、経済的に余裕がある人の方が高くなっています。

世帯構成でみると「一人暮らし」の方は、「自治協や自治会活動」への参加比率は他よりも低くなっていますが、「老人クラブ活動」や「高齢者支援活動」への参加は他の世帯構成よりも高くなっています。一人暮らし高齢者の支援にはこれらの活動を通じた支援が効果的と考えられます。

%		問27													
		n	自治協や自治会の活動	女性団体活動（女性部など）	老人クラブ活動	子ども会・育成会活動	P T A 活動	高齢者支援活動	文化・スポーツ活動	消防団活動	公民館活動	子育て支援活動	障がい者支援活動	環境保護活動	その他
全体		926	64.5	6.7	23.3	8.9	8.7	8.3	17.6	3.2	11.0	2.9	2.2	14.5	3.9
年齢4区分	18～29 歳	25	40.0	-	12.0	12.0	8.0	8.0	32.0	12.0	8.0	8.0	8.0	12.0	-
	30～49 歳	136	56.6	2.9	0.7	36.0	34.6	0.7	14.7	6.6	8.1	9.6	-	13.2	2.9
	50～69 歳	384	76.3	9.4	11.5	4.7	7.6	5.5	19.0	3.4	9.9	1.6	1.3	14.8	3.6
	70歳以上	376	56.6	5.9	44.7	2.9	0.8	14.1	16.2	1.3	13.3	1.6	3.5	14.9	4.5
居住年数3区分	10年未満	63	57.1	7.9	7.9	15.9	12.7	3.2	12.7	6.3	6.3	17.5	-	7.9	4.8
	30年未満	217	64.5	5.1	9.2	14.3	16.1	8.8	16.1	2.8	10.6	1.8	2.8	17.5	4.1
	30年以上	643	65.3	7.0	29.5	6.4	5.9	8.7	18.7	3.0	11.7	1.9	2.2	14.2	3.6
経済的状況	ゆとりがある・ややゆとりがある	140	62.9	7.1	24.3	10.0	12.9	7.1	25.0	1.4	12.9	2.9	1.4	17.9	3.6
	ふつう	493	67.3	6.9	21.3	8.3	7.9	6.9	18.1	2.4	11.6	3.2	1.2	13.0	3.0
	苦しい・やや苦しい	287	61.0	6.3	25.8	9.4	8.4	11.5	13.6	5.6	9.4	2.4	4.2	15.7	5.2
世帯構成	3世代が同居（親と子と孫）	143	67.8	4.2	20.3	21.0	21.0	6.3	21.7	3.5	8.4	2.1	2.1	15.4	1.4
	2世代が同居（親と子）	372	65.9	6.2	17.7	12.4	12.1	7.0	17.2	4.3	10.8	4.3	2.7	14.5	3.5
	夫婦のみ	274	67.9	9.1	26.3	1.1	1.8	9.1	17.2	2.2	12.0	1.8	2.2	15.0	4.0
	一人暮らし	104	53.8	5.8	37.5	1.9	-	15.4	14.4	1.0	13.5	2.9	1.0	9.6	5.8
	その他	29	37.9	6.9	34.5	3.4	3.4	3.4	20.7	6.9	10.3	-	-	20.7	10.3

③NP0 活動、ボランティア活動への参加状況（問 29）の属性情報クロス集計

NP0 やボランティア活動への参加状況を年齢、居住年数、経済的状況、世帯構成でクロス集計をおこない、比較のため参加の程度により1～4点で採点し平均を算出しました。

全体では「現在参加したり、協力している」と答えた人は11.3%にとどまる一方、「まったく参加したことはなく、今後も参加したいと思わない」と答えた人は42.3%に上っており、参加者の拡大が課題となっています。

年齢別に見ると、50～69歳の点数が最も高く、30～49歳の点数が最も低くなっています。30～49歳は「まったく参加したことはなく、今後も参加したいと思わない」と答えた人が半数を超えており、現役労働・子育て世代にとってNP0 やボランティア活動への参加はハードルが高いことがうかがえます。

一方、18～29歳は「これまで参加・協力したいことはないが、今後参加するなど関わりを持ちたい」を選択した人の比率が45.0%と半数近くであり、未参加ながら参加に前向きな若い世代を活動に取り込むことが重要です。

また、「現在参加したり、協力している」と答えた人の比率は、経済的状況で、ゆとりがある・ややゆとりがあると答えた人が16.0%で最も高く、家族構成で3世代が同居している人が15.6%で続いており、経済的にゆとりがある人と、3世代同居の人が活動の核となっていることがうかがえます。一方、一人暮らしの人は、半数以上が「まったく参加したことはなく、今後も参加したいと思わない」と答えています。

%		問29					
		n	現在参加したり、協力している	今後参加するな・協力したことはないが、	参加前に参加しない・協力したことがあるが、現在	まったく参加したことはなく、今後も参加	採点結果
全体		1240	11.3	21.0	25.3	42.3	2.01
年齢4区分クロス項目	18～29 歳	60	1.7	45.0	8.3	45.0	2.03
	30～49歳	226	4.0	29.2	11.9	54.9	1.82
	50～69歳	499	13.8	26.3	20.8	39.1	2.15
	70歳以上	455	13.4	8.1	39.1	39.3	1.95
居住年数3区分	10年未満	125	5.6	31.2	12.8	50.4	1.92
	30年未満	324	6.8	26.5	16.0	50.6	1.89
	30年以上	794	13.9	17.4	31.1	37.7	2.08
経済的状況	ゆとりがある・ややゆとりがある	188	16.0	24.5	22.9	36.7	2.20
	ふつう	651	11.8	20.9	27.8	39.5	2.05
	苦しい・ややくるしい	402	8.2	20.1	22.6	49.0	1.87
世帯構成	3世代が同居（親と子と孫）	179	15.6	22.3	27.4	34.6	2.19
	2世代が同居（親と子）	523	9.6	23.3	21.0	46.1	1.96
	夫婦のみ	347	12.7	19.6	32.0	35.7	2.09
	一人暮らし	148	7.4	17.6	23.0	52.0	1.80
	その他	45	15.6	15.6	24.4	44.4	2.02

④参加する意向がない人の理由（問 32）の属性によるクロス集計

参加する意向がない人の理由について、年齢、居住年数、経済的状況、世帯構成でクロス集計をおこないました。

年齢別の傾向を見ると、18～29 歳は「交通費や必要経費が出るなら参加したい」を選んだ人の比率が最も高くなっていますが、「インターネットでなら参加したい」と答えた人も 23.3%いました。「時間や内容が合えば参加したい」と参加意向を示した人は 30～49 歳では 44.3%、50～69 歳では 53.4%と高いことから、忙しい現役・子育て世代でも参加できるように、時間や内容への配慮が必要と考えられます。

居住年数の傾向を見ると、年数が長いほど「時間や内容が合えば参加したい」「活動の情報やきっかけがあれば参加したい」と答えた人の比率が高くなっています。

世帯構成別の傾向を見ると、3 世代が同居、2 世代同居、夫婦のみのいずれの世帯も 4 割を超える人が「時間や内容が合えば参加したい」と答えています。

%		問32										
		n	特に要件はなく参加したい	時間や内容が合えば参加したい	自分の仕事や特技を活かせるなら参加したい	活動の情報やきっかけがあれば参加したい	交通費や必要経費が出るなら参加したい	家族や友人と一緒に参加したい	人に誘われたら参加したい	集団ではなく、自分のペースでできるなら参加したい	インターネットでなら参加したい	その他
全体		744	2.2	44.0	14.2	12.6	9.0	15.3	9.7	27.7	7.7	17.3
年齢4区分クロス項目	18～29 歳	30	3.3	30.0	13.3	6.7	33.3	26.7	13.3	30.0	23.3	3.3
	30～49歳	140	1.4	44.3	17.9	12.9	14.3	17.1	9.3	20.0	10.0	15.0
	50～69歳	277	1.8	53.4	15.5	13.7	9.0	16.2	9.7	34.7	7.9	7.2
	70歳以上	297	2.7	36.4	11.4	12.1	4.0	12.5	9.4	24.6	4.7	29.3
居住年数3区分	10年未満	73	1.4	38.4	17.8	6.8	13.7	15.1	12.3	23.3	9.6	11.0
	30年未満	193	1.6	40.4	14.0	12.4	14.0	18.1	8.3	32.6	11.4	14.5
	30年以上	479	2.5	46.1	13.8	13.6	6.3	14.4	10.0	26.1	5.8	19.4
経済的状況	ゆとりがある・ややゆとりがある	100	1.0	47.0	11.0	9.0	6.0	14.0	12.0	28.0	8.0	20.0
	ふつう	391	2.3	47.3	14.8	14.6	6.6	14.3	9.2	25.1	7.7	16.1
	苦しい・やや苦しい	252	2.4	36.5	14.7	11.1	13.9	17.9	9.9	31.3	7.5	18.3
世帯構成	3世代が同居（親と子と孫）	103	2.9	50.5	12.6	14.6	15.5	18.4	15.5	28.2	11.7	14.6
	2世代が同居（親と子）	320	1.6	44.7	15.9	10.6	9.4	15.9	9.4	26.3	8.1	14.4
	夫婦のみ	202	3.5	46.5	14.4	17.3	6.4	15.3	8.9	28.2	5.9	15.8
	一人暮らし	92	1.1	35.9	9.8	7.6	6.5	12.0	7.6	30.4	5.4	28.3
	その他	28	-	17.9	14.3	10.7	7.1	10.7	7.1	28.6	7.1	32.1

NPO やボランティア活動への参加意向がない人も、地域のつながりにより、参加しない理由が変わる可能性があるため、ご近所付き合いでクロス集計をおこないました。

地域との関係が強い人の方ほど、「時間や内容が合えば参加したい」と答えた人の比率が高くなっている一方、地域との関係が弱い人ほど「集団でなく、自分のペースでできるなら参加したい」「インターネットでなら参加したい」と答えた人の比率が高くなっています。

NPO やボランティア活動に参加することにより、地域との関係が改善する可能性があるため、ご近所付き合いが希薄な人の参加を促進できるような施策を検討することが必要です。

%		問32										
		N	特に要件はなく参加したい	時間や内容が合えば参加したい	自分の仕事や特技を活かせるなら参加したい	活動の情報やきっかけがあれば参加したい	交通費や必要経費が出るなら参加したい	家族や友人と一緒に参加したい	人に誘われたら参加したい	集団ではなく、自分のペースでできるなら参加したい	インターネットでなら参加したい	その他
問18	全体	727	2.2	43.9	14.3	12.5	9.1	15.4	9.9	27.8	7.6	17.5
	互いに相談したり、生活面で協力しあっている	162	2.5	46.3	17.3	15.4	3.7	15.4	10.5	18.5	3.7	21.6
	特に親しい人はなく、外で会えば世間話をする程度のつきあいをしている	308	2.3	44.8	14.9	14.3	8.4	18.2	9.7	27.9	6.8	16.6
	あいさつはするが、話をするほどのつきあいはしていない	207	1.4	44.9	12.6	9.7	12.6	12.6	9.7	32.4	10.1	15.9
	ほとんどあいさつもしない	31	3.2	25.8	3.2	3.2	16.1	9.7	9.7	32.3	16.1	19.4
	近所に誰がいるかも知らない	19	5.3	26.3	15.8	5.3	15.8	10.5	10.5	47.4	10.5	10.5